

平成24年 2 月22日

各 位

本社所在地	東京都千代田区神田佐久間町1丁目9番地
会 社 名	クラウドゲート株式会社
代 表 者	代表取締役会長兼社長 藤 田 一 郎
コード番号	2140 札幌証券取引所 アンビシャス
問 合 せ 先	執行役員管理部長 甲 野 誠 哉
電 話 番 号	011-876-9544
U R L	http://www.crowdgate.co.jp

札幌証券取引所による当社株式の上場廃止の決定及び整理銘柄の指定に関するお知らせ

当社は本日、札幌証券取引所より平成 24 年 2 月 22 日（水）付をもって当社株式を整理銘柄の指定し、平成 24 年 3 月 23 日（金）で上場廃止となる旨の連絡を受けましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 整理銘柄指定及び上場廃止

(1) 銘柄（コード・市場区分）

クラウドゲート株式会社 株式 （コード：2140・市場区分：アンビシャス）

(2) 整理銘柄指定期間

平成 24 年 2 月 22 日（水）から平成 24 年 3 月 22 日（木）まで

(3) 上場廃止日

平成 24 年 3 月 23 日（金）

（注）速やかに上場廃止すべき事象が発生した場合は、上記整理銘柄の指定期間及び上場廃止日を変更されることがあります。

(4) 上場廃止理由

株券上場廃止基準第 2 条の 2 第 3 号で準用する株券上場廃止基準第 2 条第 11 号 a（上場会社が有価証券報告書等に虚偽記載を行い、かつ、その影響が重大であると札幌証券取引所が認める場合）及び同基準第 2 条第 12 号（有価証券上場規程第 3 条の 2 の規定より提出した宣誓書において宣誓した事項について重大な違反を行った場合）に該当すると認められたため。

(5) 概要

当社は平成 23 年 1 月 13 日に、旧経営陣による不正会計処理に伴い有価証券報告書等の訂正報告書を提出する予定である旨開示したため、札幌証券取引所は同日付で「虚偽記載」及び「上場契約違反等」により監理銘柄（審査中）に指定いたしました。

また、当社は不適切な開示を行い、投資者保護の観点から、投資者の投資判断の基礎となる重要な情報が適正に開示されていない状況に該当するおそれがあるため、平成 23 年 1 月 14 日に「公益又は投資者保護のため」を監理銘柄（審査中）指定期間理由に追加し、上場廃

止審査中でありました。

当社の現経営陣は、旧経営陣により行われた過去の取引において、不適切な会計処理が行われていた疑義が生じたため、平成23年10月25日に第三者委員会を設置し、平成23年12月13日に第三者調査委員会報告書を開示、平成23年12月27日及び平成24年1月16日に過年度の有価証券報告書の訂正報告書等を関東財務局へ提出いたしました。

当社は、平成18年12月期から平成21年12月期までの間、旧経営陣の関与により資金循環を前提とした固定資産の購入とコンテンツ許諾取引による循環取引、取締役の個人債務の精算のための不正支出などの不適切な取引を行い、虚偽の決算情報を開示いたしました。

その内容は監査法人を欺く架空売上の計上、資産の過大計上等の悪質な不正会計処理が意図的に行われていたもので、訂正後の決算情報は売上高、利益を大幅に減少させるものであります。その結果、当社は本件発覚まで上場後一度も正しい財務諸表を開示しておらず、加えて、平成20年12月期及び平成21年12月期は2期連続債務超過であって株券上場廃止基準に定める要件に抵触するものであります。

なお、当該虚偽記載に関しては、重要な事項につき虚偽の記載がある有価証券報告書等を提出した理由により、証券取引等監視委員会から平成24年1月27日に金融商品取引法違反により課徴金納付命令勧告がなされました。

また、上場申請期である平成18年12月期の経常利益及び当期純利益については黒字から赤字に訂正、その結果、訂正後の正しい財務諸表では予算と実績が大幅に乖離している状況でありました。

以上のことから、当該虚偽記載は、投資者の金融商品市場に対する信頼を著しく毀損するものであり、その影響は重大であると認められ、また、新規上場申請に係る宣誓書において宣誓した事項について重大な違反を行ったものと認められるため、当社株式の上場廃止が適当であると判断されました。

今後の見通し

当社株式は、平成24年2月22日（水）から平成24年3月22日（木）までの期間、整理銘柄に指定され、平成24年3月23日（金）に上場廃止となる予定です。

なお、当社は、平成24年2月14日付「事業再生計画の策定に関するお知らせ（支配株主との取引）」にてお知らせしたように、当社の主要株主である河端繁氏からの1億5千万円の債権放棄および融資枠の設定など、全面的な支援をいただいております。当社株式が上場廃止となりましても、当該事業再生計画には、大きな影響はないと判断しております。

しかしながら、株主様をはじめ市場関係者の皆様、お取引先様、当社にご協力いただいております皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

なお、今後の当社の方針に関しましては、必要に応じてお知らせさせていただきたく存じますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上